学校番号	219

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭総合　自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習を通して考え、理解を深め知識を身につけます。
　友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりより生活を目指します。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を総合的に身に付けている。	人の一生と家族･家庭子どもや高齢者との関わりと福祉､消費生活､衣食住などに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	授業観察 ワークシート 製作計画・調理計画・実習記録表 レポート、発表 自己評価等	授業観察 ワークシート 製作計画・調理計画・実習記録表 レポート、発表 定期考査 自己評価・相互評価等	授業観察 ワークシート 製作品・ 製作計画・調理計画・実習記録表 実技テスト 自己評価・相互評価等	授業観察 ワークシート 製作品 製作計画・調理計画 実習記録表 定期考査 自己評価･相互評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	住生活をつくる	住生活について考える 住生活の計画と選択 住生活の文化と知恵 これからの住生活	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:学習内容に関心を持ち、真面目な態度で、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、自分の考えを表現している。 c:主体的に住生活を営むために必要な住空間の計画等の技術を身に付けている。 d:学習内容を科学的に理解し、安全と環境に配慮した住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 製作計画 製作品 定期考査 発表 自己評価 相互評価
	食生活をつくる	食生活の課題について考える 食事と栄養・食品 調理の基礎	○ ○ ○	○ ○	 ○	○ ○ ○	a:学習内容に関心を持ち、真面目な態度で、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、自分の考えを表現している。 c:主体的に食生活を営むために必要な食品の選択、調理、管理等の技術を調理実習を通して身に付けている。 d:学習内容を科学的に理解し、安全と環境に配慮した食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査 実技テスト 調理計画 実習記録表 レポート 発表 自己評価 相互評価
二学期	食生活をつくる	調理の基礎(続き) 食生活の文化と知恵 これからの食生活	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:学習内容に関心を持ち、真面目な態度で、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、自分の考えを表現している。 c:主体的に食生活を営むために必要な食品の選択、調理、管理等の技術を調理実習を通して身に付けている。 d:学習内容を科学的に理解し、安全と環境に配慮した食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査 発表 調理計画 実習記録表 実技テスト レポート 自己評価 相互評価

二学期	子どもと共に育つ	命を育む 子どもの育つ力を知る 親として共に育つ 子どもとの触れ合いから学ぶ これからの保育環境	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:学習内容に関心を持ち、真面目な態度で、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、自分の考えを表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり、子どもの健やかな発達を支援したりするために必要な技術を身に付けている。 d:学習内容を理解し、家族及び地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査 発表 レポート 自己評価 相互評価
三学期	経済生活を営む	職業生活を設計する 計画的に使う 国民経済・国際経済と家庭の経済生活 現代の消費社会 ・契約の重要性 ・消費者保護の仕組み 消費者の権利と責任 これからの消費生活と環境	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:学習内容に関心を持ち、真面目な態度で、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、自分の考えを表現している。 c:自立した消費者としての家庭経済の管理や計画に関する技術を身に付けている。 d:学習内容を理解し、適切な意思決定に基づいて責任を持って消費行動ができるために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査 発表 自己評価 相互評価
	生活を設計する	生涯を見通す	○	○	○	○	a:学習内容に関心を持ち、真面目な態度で、意欲的に取り組もうとしている。 b:課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、自分の考えを表現している。 c:生活設計を立案するための基礎的・基本的な技術を身に付けている。 d:現在及び将来の生活設計のために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート 定期考査 発表 自己評価 相互評価